

2021 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 自立援助ホーム みんなのいえ

代表者・役職名 氏名 ホーム長 小倉 淳

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

野外活動の「共同」体験を通して若者たちを元気づけるプロジェクト

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

虐待により親のサポートなく社会へ自立していくことを余儀なくする子どもや、児童養護施設、里親等の社会的養護を10代後半で措置解除された子どもが辿り着く場が自立援助ホームです。虐待により他者とのコミュニケーションに課題をもつ子どもたちに、「豊かな経験と出会いによって人は変わる」というメッセージを含め、自立援助ホームみんなのいえを創設しました。困った時に「たすけて」と言えるような人間関係を育みなおすこと、社会に自立しても「いつでも応援しているよ」を大切にしています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

社会的養護下で暮らしてきた子どもたちは誰かと共に何かに打ち込む経験に乏しかったり、他者とのやり取りが苦手であったりします。加えてコロナ禍で生活様式が激変したことでコミュニケーションもより多様化しました。しかし、子どもと大人が生活を共にする自立援助ホームだからこそ「共同」を通して励まし合うことがお互いを支え、活力になるはずです。野外活動を通じた共同体験によって、人とのやり取りの楽しさを実感し、明日に向かう活力を得る機会にします。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当ホームで暮らす子どもたちはそれまでの不安定な暮らしの影響で、他者との共同体験の面白さ、豊かさを感じにくい社会経験の乏しさがあります。キャンプという非日常経験を通し、自然の中で仲間と一緒に様々な活動に挑戦することで、日常とは違う楽しさや達成感が得られるという効果を期待します。野外活動における共同作業という生身のやり取りの持つ作用に注目して、他者への信頼や安心感を得る機会をつくる。

応募申請時は、山梨県「東京 YMCA 山中湖センター」を会場に実施する予定でしたがコロナ感染防止対策の緊急事態宣言発令に伴い、急遽、千葉県内(館山市)をフィールドに変更してプロジェクトを実施。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

プロジェクト会場変更により当初計画していた「湖でのカヌーやボート、キャンプファイヤー」のプログラムを「海遊び、花火、BBQ」に変更して実施をしました。行先もプログラム内容にも変更はありましたが、当初からの目標通り、自然の中で身体を使った活動は日常では体験できないことばかりで協調性、達成感を子ども一人一人が体感することが出来ました。プロジェクト終了後(帰宅してすぐ)に、これまではお互いに声を掛け合うこともなかった子ども達が全員で後片づけや、談笑をする姿がみられお互いを尊重しあうことを学んだ2日間となりました。明日への活力を子ども達が体感でき達成感を得られたことで、日常生活に戻っても新しい気持ち、人とのやり取りの工夫など自立するためのステップを踏むことができたと考えています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ禍の情勢、緊急事態宣言発令により行動制限があり、プロジェクトを実施すること自体を悩みましたが、日々、就労や学校などで励んでいる子どもたちに確認したところ、「えっ何で!?」「仕事も休みをとって、とても楽しみにしていたのに…」等の意見があり、県外を跨いでプロジェクト実施ではなく県内で実施できる場を探して計画を練り直すことにしました。貴団体の助成金と、皆さまからの当団体に対するご声援があったことで実現できたプロジェクトだと思っております。コロナ禍のなかにあってストレスを抱えるだけでなく、親の後ろ盾がない子どもたちのために私たち大人が出来ること…それにご賛同くださる貴団体には本当に感謝しかありません。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

